



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

十二月

廿五日 大正天皇祭
 廿二日 冬至、新月
 十四日 義士祭
 六日 満月

佛山の水上タクシー
 〔南支戦線〕

平野本社特派員撮影

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

昭和三十三年十二月二日

大坂毎日

第五五七五號一

昭和三十三年十二月二日



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

三月
廿六日
廿一日
十三日
十日
六日
三日
一日

彌生
滿洲國建國記念日
神鋒奉獻青年學校
國防自轉車大行軍
(宮崎神宮—樞原神宮)
雛祭
地久節
陸軍記念日
二月堂お水取り(奈良)
春季皇靈祭
第十六回全國選抜中等
學校野球大會(八日間)

京都 東本願寺
カメラ
岡本東洋

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

昭和四十年三月一日

大阪毎日 寫真特載

第五百九十五號 一四

昭和四十年三月一日

陸戦隊、江岸の敵を撃滅

中支戦線

二洲子附近の残敵掃蕩を開始したわが海軍陸戦隊は、さらに江岸に蟠
踞せる頑敵を撃滅しつつ、猛進撃してゐる

山上本社特派員撮影

昭和四十四年九月二十五日

大坂毎日 寫真特報

第六百八十四號





決死・洞庭湖岸に敵前上陸

湖南戦線―廿三日拂曉を期して決行されたわが海軍遡江部隊の洞庭湖岸敵前上陸に決死従軍した本社中島清特派員は、第一上陸決死隊と共に九馬嘴敵陣地二十メートルの死角に突入し、わが海の勇士の勇猛果敢な戦闘をつぶさに撮影した

―寫眞は死角に取つた海の勇士―
中島本社特派員決死撮影

昭和四十四年十月二日

寫眞特報 大阪毎日

第六百八十七號一

疾風、高郵(江蘇地方)を陥る

わが小川、大熊、金澤等の諸部隊は江北大運河を北上、海軍部隊と緊密なる連繋のもとに高郵湖東岸に敵前上陸を敢行、疾風ののごとく追撃して江蘇省北部地区の殘敵を撃滅し、要衝高郵を攻略大戦果を収めた

—高郵城壁に突入するわが小川部隊—

山田本社特派員撮影

昭和四十四年十月十一日

寫真特報 大阪毎日

第六百九十一號 四二



紀元二千六百年
昭和十五年

「閏年」

日 曜 表

1月	7	14	21	28	
2月	4	11	18	25	
3月	3	10	17	24	31
4月	7	14	21	28	
5月	5	12	19	26	
6月	2	9	16	23	30
7月	7	14	21	28	
8月	4	11	18	25	
9月	1	8	15	22	29
10月	6	13	20	27	
11月	3	10	17	24	
12月	1	8	15	22	29

一月一日	四方拜
一月三日	元始祭
一月五日	新年宴會
二月十一日	紀元節
三月廿一日	春季皇靈祭
四月三日	神武天皇祭
四月廿九日	天長節
九月廿三日	秋季皇靈祭
十月十七日	神嘗祭
十一月三日	明治節
十一月廿三日	新嘗祭
十二月廿五日	大正天皇祭

一月三日	新聞休刊日
一月六日	小寒
一月廿一日	大寒
二月四日	節分
二月五日	立春
二月六日	滿洲國皇帝萬壽節
二月八日	舊正月元旦
三月一日	滿洲國建國記念日
三月六日	地久節
三月十日	陸軍記念日
三月十四日	新聞休刊日
三月三十日	靖國神社大祭
五月六日	立夏
五月廿七日	海軍記念日
六月十一日	入梅
六月廿一日	夏至
七月七日	支那事變記念日
八月八日	立秋
九月一日	二百十日
十月十八日	新聞休刊日
十月廿三日	靖國神社大祭
十一月七日	立冬
十二月廿二日	冬至
十二月廿三日	皇太子殿下御誕辰



陣中の新春

南支戦線〇〇附近の護り、岡田部隊の衛門には勇士の手作りになる大門松、注連縄飾りも爽かに歩哨勇士の顔も明るく朗らかだった

廣東郊外〇〇にて

福島本社特派員撮影

昭和十五年一月三日

日毎阪大 眞寫特報

第七百二十七號

